天文情報誌 Vol.376
2026年10月号



ほしぞら

発行：コニカミノルタ サイエンスドーム
協力：株式会社東急コミュニティー

ホームページ

太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
日付 ▼情報 暦(こよみ) 天文現象 月の形 日の出 日の入 イベント 二十四節気	☆土星が衝(しょう) 衝…太陽系の天体が地球から見て太陽の反対側に位置する瞬間のこと。 衝の前後の時期には一晩中見ることができるので観望の好機		1 05:35 17:29	2 05:36 17:28	3 下弦 05:37 17:26	4 ・土星が衝(このころ一晩中見られる) 05:38 17:25
5 ・明け方の東の空で月と火星が接近 05:38 17:23	6 ・明け方の東の空で月と火星、木星が接近 05:39 17:22	7 ・明け方の東の空で月と木星が接近 05:40 17:21	8 05:41 17:19 寒露	9 05:42 17:18	10 05:43 17:17	11 新月 05:43 17:15 星空さんぽ
12 スポーツの日 05:44 17:14	13 05:45 17:12	14 05:46 17:11	15 05:47 17:10	16 05:48 17:09	17 05:48 17:07 トワイライト	18 05:49 17:06
19 上弦 05:50 17:05	20 05:51 17:04	21 05:52 17:02	22 ・オリオン座流星群が極大(未明に月が沈んだ後は条件が良い) 05:53 17:01	23 05:54 17:00 霜降	24 ・月と土星が接近 05:55 16:59 星空観望会	25 05:56 16:58 全編生解説
26 満月 05:57 16:56	27 05:57 16:55	28 05:58 16:54	29 05:59 16:53	30 06:00 16:52	31 06:01 16:51 天文講座	

二十四節気

月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

寒露(かんろ)…秋が深まり、つゆが冷たく感じられるころ

霜降(そうこう)…冷えこみが増し、霜(しも)が降りるころ

プラネタリウムイベント情報！

※詳しくはホームページ等でご確認ください。

秋の星空さんぽ
11(日) 15:50～16:40
見ごろの星や星座、天文現象のお話

トワイライトプラネタリウム
17(土) 18:00～18:50
「ゴッホが描いた星空」

星空観望会
24(土) 18:00～19:30
事前申込制
観望予定天体：月、土星、ほか

全編生解説プラネタリウム
25(日) 15:50～16:40
テーマ「10万年後の星空　～変わりゆく星座と北極星～」

天文講座
31(土) 10:30～11:20
テーマ「星の動きを学んで、観察に出かけよう」

後の名月(十三夜)
―もうひとつのお月見―

十五夜と十三夜

先月、9月25日は中秋の名月、お月見の日でした。
一般的な呼び名として「十五夜」とも呼ばれます。
実は日本にはもう一日、お月見の日があり
旧暦の9月13日の月を眺める日を「後の名月」、
「十三夜」と呼んでいます。
今年は10月23日が十三夜です。



どうして2回お月見をするの？

お月見の風習は平安時代に海外から日本に伝わりました。
当時のお月見は年に一度、中秋の名月のみでしたが、
日本はこの時期に台風が多く、お月見を楽しむのが難しかったため、
気候が安定して景色と共に月を眺められるようになるころに
もう一度お月見が行われるようになりました。(諸説あります)

最初にこの十三夜のお月見を行ったのは
平安時代の醍醐天皇(885～930年)とも、
宇多天皇(867～931年)とも言われています。

中秋の名月(十五夜)	… 毎年旧暦の8月15日の夜に見える月のこと。ススキやお団子、里芋を供えて、収穫の感謝と翌年の豊作を願う。
後の名月(十三夜)	… 毎年旧暦の9月13日の夜に見える月のこと。日本独自のお月見で、栗や枝豆を供える。



★かんたん星座早見★
10月
(月は描いてありません)







★ 1等星
● 2等星
・ 3等星
☆ 惑　星

星座早見は方角を合わせて空にかざして使うよ。



10月1日午後8時00分頃　10月15日午後7時00分頃　10月30日午後6時00分頃